

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○: イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるようにカナで奇跡を行いました。(×: カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト <http://ce.ag-j.or.jp/>

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教 師 ノ ー ト

日付	2011年12月 4日
単元	クリスマス
テーマ	神様に信頼して従う
タイトル	マリヤとヨセフと天使
テキスト	ルカ1:26-38
参照箇所	マタイ1:18-24
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ルカ1:38

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

[小下1巻クリスマス](#) [小下2巻クリスマス](#) [幼2巻2題2課](#) [幼1巻2題1課](#)

□導入

12月に入りました。イエス様がお生まれになったクリスマスまで、感謝をしながら一日一日を過ごしましょう。今月のお話は、神様がイエス様をどのようにして、この世界におくられたのかを聖書からみていきます。

今日のお話に登場するのは誰だかわかりますか？イエス様のお父さんとお母さんになる人のお話です。

□ポイント1 マリヤさんのもとに天使があらわれました

ガリラヤのナザレという町に、マリヤさんという女の人が住んでいました。マリヤさんは神様を愛し、毎日神様に喜ばれる生活をしていました。彼女は大工をしていたヨセフさんと婚約していました。マリヤさんは、ヨセフさんと結婚が決まっていたので、これからのことなどいろいろと考えながら、毎日幸せに生活をしていました。

そんなある日のことでした。神様から遣わされた天使ガブリエルが、マリヤさんのところへ突然あらわれました。そしてマリヤさんに向かって「マリヤよ」と呼びました。マリヤさんは驚いてふり向きしました。マリヤさんが見ると、そこには白く輝く天使が立っていました。天使の着物は雪よりも白く、その顔は美しく輝き、マリヤさんにほほえんでいました。

そして天使はこのように言いました。「おめでとう、恵まれた方。神様があなたと一緒にいらっしゃいますよ」マリヤさんは、あまりにも突然のことだったので、「おめでとう、恵まれた方」と言われても意味がわかりませんでした。そしてこのあいさつは何のことだろうかと、考え込んでいました。

□ポイント2 マリヤさんは天使の言葉を受け入れました

すると天使が言いました。

「マリヤ。怖がることはありません。神様はあなたに素晴らしいことをしてくださるのです。あなたはすぐに赤ちゃんが与えられます。そして男の子を産みます。その子の名前をイエスとつけなさい。その子は『神の子』と呼ばれます。」

マリヤさんはびっくりして答えました。

「どうしてそのようなことが起こるでしょう。私はまだ結婚もしていないのです。」

すると天使が言いました。

「マリヤ、よく聞きなさい。聖霊があなたの上に臨んで、聖い神様の力があなたのうちに命を創造されるのです。ですから、生まれてくる子どもは聖い者で、神の子と呼ばれます。」

「あなたの親類のエリサベツも、あんなに年を取っているのに赤ちゃんが与えられたのですよ。神様にできないことは一つもありません。」

最初、マリヤさんはどうして救い主の母になるのかわかりませんでした。けれども、天使のことばを信じました。そしてはっきり答えました。

「確かに私は神様の前に小さな者にすぎません。すべて神様の言われたとおりにいたします。どうぞいま言われたとおりになりますように。」

マリヤさんがこう言うと、天使は見えなくなりました。

□ポイント3 ヨセフさんは夢の中で天使に会いました

マリヤさんの上に聖霊が臨んで、聖い神様の力で赤ちゃんが与えられました。このことを婚約者のヨセフさんは知りました。ヨセフさんは本当にビックリしました。

ヨセフさんは正しい人であったので、マリヤさんに赤ちゃんが与えられたことがみんなに知られる前に、そっと別れる決心をしました。それはヨセフさんなりの優しさであり、マリヤさんにとっても一番良いことだと思ったからです。

ところが、このように考えていると、その夜に神様からつかわされた天使が夢に現れて言いました。

「ダビデの子ヨセフよ、恐れなくてマリヤを妻として迎え入れなさい。マリヤに与えられた赤ちゃんは聖霊によって宿ったのです。やがてマリヤは男の子を産みます。その生まれた赤ちゃんにイエスと名前を付けなさい。この方は人々を罪から救ってくださる方です。」

これらの出来事は、むかし神様の預言者を通して言われていた「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」ということが実現するためでした。

ヨセフさんは眠りから覚めると、天使の言葉を信じて受け入れました。そして言われたとおりに、マリヤさんと結婚することにしたのでした。

□結論 マリヤさんもヨセフさんも神さまのご計画を受け入れました

マリヤさんは天使から神様のご計画を聞いたとき驚きましたが、

「おことばどおりこの身になりますように」と、神様のご計画に従う信仰をいいあらわしました。

ヨセフさんも、マリヤさんに赤ちゃんが出来たとき、はじめはそのことを受け入れることができませんでしたが、夢の中で天使から神様のご計画を聞いて、マリヤさんと結婚したのです。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. マリヤさんの心の中にも、ヨセフさんの心の中にも、自分たちの身に起こったことに対して本当の解決はありませんでした。でも、天からその解決が示されたのです。

私たちの中にも、自分の力ではどうすることもできないことにぶつかることがあると思います。そんなとき、神様は必ず答えを下さるお方です。そのことを信じてお祈りしましょう。

2. マリヤさんもヨセフさんも、神様のご計画が知らされたとき、その神様のご計画を信じて従いました。ですから神様はすばらしいことをなさって下さったのです。

神様は私たち一人一人にもすばらしい計画をもっています。その計画を実現させるためには何が必要なのでしょう？マリヤさんとヨセフさんが従ったように、私たちも神様の計画を受け入れて従うことが大切です。神様がしなさいと言われたことには、従えるようにお祈りしましょう。

教 師 ノ ー ト

日付	2011年12月11日
単元	クリスマス
テーマ	クリスマスの備え
タイトル	ベツレヘムでの住民登録
テキスト	ルカ2:1-7
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) 黙3:20 or マタイ11:28 or ルカ6:31
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	幼1巻2題2課 幼1巻2題3課 幼1巻2題4課 小上1巻3題1課 小上1巻クリスマス
□導入	<p>先週のお話は、婚約中だったマリヤさんとヨセフさんが、なんと、天使から「イエス様のお父さんお母さんになりますよ。」という神様の計画を知らされました。そして2人はその天使からの言葉を信じて受け入れました。</p> <p>今日のお話はそのつづきのお話です。さあどうなるのでしょうか？</p>
□ポイント1 マリヤさんとヨセフさんはベツレヘムに向かいました	<p>マリヤさんとヨセフさんが神様のすばらしい約束をうけてから、何か月もたったある日のことでした。ローマの皇帝から命令がありました。それは住民登録の命令でした。すべての人が自分の先祖の故郷で登録をしなければなりませんでした。</p> <p>ヨセフさんは王家の血筋だったので、いま住んでいるガリラヤのナザレから、ダビデ王様の出身地であるベツレヘムに行って登録をしなければなりませんでした。</p> <p>ヨセフさんはマリヤさんの事を考えました。</p> <p>「マリヤはいま赤ちゃんがいて、おなかが大きくて心配だ。一緒に行くのは無理じゃないかな？でも一人で留守番をさせることは、もっと心配だ。」</p> <p>ヨセフさんはいろいろと悩みましたが、マリヤさんも一緒に連れていくことにしました。</p> <p>マリヤさんは、荷物をまとめて、長い旅行の仕度をはじめました。間もなく二人は、ベツレヘムに向かって出発しました。</p>
□ポイント2 マリヤさんとヨセフさんはベツレヘムに到着しました	<p>ヨセフさんは、おなかの大きなマリヤさんを小さなロバに乗せて、岩だらけの道をゆっくりと進みました。</p> <p>ベツレヘムまでは100kmぐらいありました。丘を越えたり、谷を通ったりして、長い旅行でした。ヨセフさんはマリヤさんのことを心配しながら歩きました。</p> <p>数日後の夕方遅くに、ヨセフさんとマリヤさんはやっとベツレヘムに到着しました。マリヤさんはとても疲れていて、すわってられないくらいでした。</p>
□ポイント3 ヨセフさんはベツレヘムで泊まる場所をさがしました	<p>ヨセフさんは、すぐにマリヤさんのために今日泊まる場所をさがしました。宿屋をまわって空いている部屋があるかどうかをたずねたのでした。</p> <p>「こんばんは。今日泊まれる部屋はありますか？」すると宿屋の主人は「お気の毒ですが、部屋はありません。」</p> <p>ヨセフさんは次の宿屋へ行きました。</p> <p>「こんばんは。私たち二人が泊まれる部屋はありますか？」宿屋の主人は答えました「お気の毒ですが、部屋はいっぱいです。ほかの宿屋をさがしてください。」</p>

宿屋はどこもいっぱい泊まる場所がありません。ベツレヘムの町にはたくさんの方が住民登録をするために、いろいろな町からやって来ていたのです。

ヨセフさんは困ってしまいました。マリヤさんは、おなかに赤ちゃんがいてこの旅行で疲れていたからです。急いで何とかしなければなりません。

ヨセフさんは他の宿屋へ行きました。

「こんばんは。私たち二人が泊まれる部屋はありますか？妻のマリヤのおなかに赤ちゃんがいて、もう生まれそうなんです」

宿屋の主人はヨセフさんが困っているのをみて、「家畜小屋ならありますが、そこなら奥さんのために寝床を作ってあげてもよいですよ」と言いました。

ヨセフさんは親切な主人に「ありがとうございます。家畜小屋でかまいません。今夜はそこに泊まらせて下さい」と言いました。

□結論 マリヤさんとヨセフさんは家畜小屋に泊まりました

ヨセフさんとマリヤさんは家畜小屋に案内されました。マリヤさんはやっと横になることができました。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

ベツレヘムの町には住民登録のためたくさんの方がやってきていました。そのために、宿屋はどこもいっぱいヨセフさんやマリヤさんは、泊まるできませんでした。

1. 救い主がやって来られようとしていたのに、忙しさのあまり、誰一人そのことに気がつきませんでした。ここに出てくる宿屋というのは、私たちの心の中をあらわしています。

この時、宿屋の中はたくさんのお客さんでいっぱいになっていました。それと同じように、私たちの心の中も、いろいろなことでいっぱいになってしまっていることがあります。

心配な事や悩みなどがあるかも知れません。また私たちの自分勝手な悪い思い、わがままであるとか、ねたみであるとか、赦せない思いなどもあるでしょう。

イエス様は、そんなたくさんのお客さんでいっぱいになっている私たちの心の中に入りたいと願っておられるのです。そしてたくさんの問題で苦しんでいる、私たちの問題を、「私が代わりに背負ってあげよう」、「考えてあげよう」、「あなたが背負っている問題は私が引き受けてあげます」、「あなたはその問題を下ろしていいのですよ」、と願っておられるのです。

みなさんの心の中は、どんな思いがありますか？たくさんのお思いでいっぱいになっていて、イエス様を追い出してしまうということはないでしょうか？いま一緒にお祈りをして、イエス様を心の中にお迎えしましょう。

2. ヨセフさんとマリヤさんは本当に困っていました。でも、親切な宿屋の主人が家畜小屋を用意してくれました。ヨセフさんとマリヤさんは本当に助かったと思います。私たちも困っている人がいたら自分の出来ることをして助けてあげましょう。

教 師 ノ ー ト

日付 2011年12月18日

単元 クリスマス

テーマ 救い主誕生

タイトル 羊飼いに天使があらわれました

テキスト ルカ2:8-20

参照箇所

暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)

ルカ2:11

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

[幼1巻2題3課](#) [幼1巻2題4課](#) [小上3巻クリスマス](#) [小上1巻3題1課](#) [小上1巻クリスマス](#)

□導入

今日はクリスマスの礼拝です。クリスマスおめでとうございます。イエス様のお誕生日をみんなで心からお祝いしましょう。

ところで、世界ではじめのクリスマスって？みなさん知っていますか？

今日はそのときのお話をします。

□ポイント1 羊飼いに天使があらわれました

イエス様が生まれた頃、ベツレヘムに近い野原で羊飼いたちが羊の番をしていました。

ある夜のことで、羊飼いたちはいつものように交代で羊の番をしたり、休んだりしていました。すると突然あたりが明るくなりました。ものすごい光です。羊飼いはビックリです。その光の真中には、なんと天使がいました。驚いた羊飼いたちは地にひれ伏してしまいました。

□ポイント2 天使は救い主の誕生を羊飼いに伝えました

天使は言いました。

「恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。きょうダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられるしるしである。」

天使は、とても大切なことを言いました。それは「全ての人に大きな喜びが与えられる」ということ。また「全ての人のために救い主が来た」ということでした。そしてそのしるしとして、その赤ちゃんは「飼葉おけの中に寝かしてある」と言うのです。

このすばらしい喜びの知らせを伝えられると、空には大勢の天使が現われました。そして神様のすばらしさを賛美したのです。

□ポイント3 羊飼いは救い主に会いに行きました

天使は賛美が終わると天に帰っていきました。羊飼いは今聞いたすばらしい話のことを話し合いました。

「おい、すごかったな。びっくりだよ」

「それより聞いたか？ベツレヘムに行ってみよう。そして天使が知らせてくださった、救い主にお会いしよう。」

「そうだ。急いでベツレヘムに行き、救い主に会って来ようではないか。」

羊飼いたちは急いでベツレヘムに行きました。そして天使が「救い主は飼葉おけに寝ている」と言われたので、そのしるしをさがしました。

そしてとうとう、家畜小屋の飼葉おけの中に眠っている赤ちゃんを見つけたのでした。

天使が言ったように布にくるまっていました。もう確実です。この赤ちゃんが神のみ子救い主です。

羊飼いたちはマリヤさんとヨセフさんに自分たちに天使があらわれたこと、そしてその天使から聞いたこととお話しました。

羊飼いは本当にうれしくなり喜びにあふれ「本当だったね。天使が言ったことはうそじゃなかったね」とうれしそうに話しながら帰っていきました。

羊飼いたちは帰ってから、みんなに天使が救い主の誕生を教えてくれたことと、自分たちも救い主を見たことを話しました。

□結論 救い主は家畜小屋でお生まれになりました

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. 羊飼いさん達は天使から喜びの知らせを聞いたあとどうしたでしょうか。彼らはすぐにベツレヘムに行きました。そして天使が言われたとおりに救い主にお会いしました。

彼らは天使を見て驚いたけれども、そのあと天使が言われたことを素直に受け入れて行動しました。私達も神様から言われたことがあればすぐに素直に従い行動しましょう。

神様に従えるように、いまお祈りしましょう。

2. イエス様は、家畜小屋の中でお生まれになり、飼い葉おけに寝かせられました。それが、わたしたちすべての者のための「救い主」であるイエスさまのお誕生でした。

イエス様は、私たちが「神さまの独り子、私たちの救い主」にふさわしいと思うような、りっぱなお姿で私たちの所に来られたのではありませんでした。イエスさまは、家畜小屋で生まれ、飼い葉おけがベッドでした。

もしもイエスさまが立派な宮殿やお城で堅く守られているような所でお生まれになったとしたらどうでしょうか？私達は近づくことが出来たと思いますか？羊飼いたちもわたしたちも近づくことができなかったでしょう。

しかしイエスさまは家畜小屋で生まれ、飼い葉おけをベッドにして寝かされていました。ですから羊飼いは近づくことができたのです。すべてのひとのための救い主だからこそ、イエスさまはこのようなお姿で私たちに与えられたのです。イエス様がこのようなお姿でお生まれになったことを心から感謝しましょう。

3. 羊飼いたちは、救い主イエス様にお会いしました。彼らはそのあと、このすばらしい出来事を、人々に伝えました。私達も救い主イエス様のすばらしさを、周りの人たちにお伝えしましょう。

教師ノート

日付	2011年12月25日
単元	クリスマス
テーマ	礼拝
タイトル	東方の博士
テキスト	マタイ2:1-12
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) マタイ2:11
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	小上 3 巻クリスマス 小下 2 巻 2 題 2 課 幼 1 巻 2 題 5 課 幼 2 巻 2 題 5 課 幼 2 巻 2 題 6 課
□導入	今日は今年最後の礼拝ですね。みんなにとってどんな一年でしたか？ 先週はクリスマスでしたが、みなさんはクリスマスプレゼントをもらいましたか？ プレゼントをもらえるということは、とってうれしいことですね。 クリスマスの日に、天の父なる神様が私たちに大切なプレゼントを下さいました。それはイエス様です。 今日は、そのイエス様にすばらしいささげものをした人たちのお話です。
□ポイント1 東方の博士たちは不思議な星を見ました	イエス様は、ユダヤのベツレヘムの馬小屋でお生まれになりました。そのベツレヘムからずっと遠い、東の国に、博士たちが住んでいました。 ある晩のことでした。博士たちは、自分たちの国で空をじっと見ていました。すると今まで一度も見たことのないような不思議な星を見つけました。 「みなさん、見て下さい。あの大きな輝く星を。」「ほんとうだ。なんて大きくて輝いている星だろう。きっと何かの知らせに違いない」 博士たちは、いろいろと調べてみました。そしてその星がユダヤの国に救い主が生まれたしるしであることをつきとめました。 博士たちは「ユダヤ人の王様が生まれたんだ。みんなでさがしに行こう」と言いました。 博士たちは長い旅行の準備をして、大きならくだの背中に乗って、西の方に向かって出発しました。 博士たちは、星をたよりにして何日も歩き続けました。暑い砂漠や、広い川を越えて、王様が生まれたと思う、エルサレムのそばまでやって来ました。
□ポイント2 東方の博士たちはエルサレムでヘロデ王に会いました	博士たちは、エルサレムに着くとヘロデ王の宮殿に行きました。そしてこのように言いました。「ユダヤ人の王として生まれた方はどこに居るのでしょうか？私たちは東の国で、その星を見て、拝みに来たのです」。 ヘロデ王は、もう一人の王様が生まれた、ということを知ってとても不安になりました。それは自分だけが王様だと思っていたからです。そこで学者たちを呼んで、「預言者たちは、その子どもがどこで生まれると言っているのか」と聞きました。学者たちは皆、「ベツレヘムです」と言いました。 ヘロデ王は博士たちに、「行ってその子のことを詳しく調べてほしい。そして見つけたら戻って来て、私に教えてほしい。私もその王様を拝みにいきたいからね」と言いました。

ところが、ヘロデ王は、新しい王様を見つけたら拝みに行く、と博士たちに言ったのはウソでした。本当は別の計画がありました。それは、その新しい王様として生まれた赤ちゃんをすぐに殺してしまうつもりだったのです。しかしその計画は博士たちには秘密にしていました。

□ポイント3 東方の博士たちはイエス様にささげものをしました

博士たちはふたたび、らくだに乗ってあの星のあとについて、何キロか離れたベツレヘムへ行きました。

そしてついに、イエス様の居る家に着きました。家の中にはいってイエス様を見た博士たちは、ひれ伏して拝みました。

そして、黄金、乳香、もつ薬など、素晴らしい贈り物をさしあげました。博士たちは、イエス様にお会い出来たので、とても幸福でした。そして、やがてユダヤ人の王様になる人を見せて下さった神様に感謝しました。

その晩、神様は博士たちの夢の中で、「ヘロデの所へ行かないで、ほかの道から帰りなさい。ヘロデはこの子を拝むのではなく、殺そうとしている」と教えました。博士たちは夢で教えられた通りをして、ヘロデ王の所へは帰らずに、他の道を通って自分の国へ帰っていきました。

□結論 東方の博士たちは幼子イエス様を礼拝しました

適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

博士たちは、黄金、乳香、もつ薬などの宝物をイエス様にささげました。彼らは自分たちが準備できる一番良い物をささげたのです。私たちは、イエス様に何をおささげすることができるでしょうか？

神様の前で心から賛美することでしょうか？神様のご用のために献金をささげることでしょうか？毎週日曜日はかならず礼拝をささげることでしょうか？神様のすばらしさをお友達に伝えることでしょうか？

自分にできることを神様にお祈りをしてさがしてみましよう。イエス様はあなたのささげものを喜んで下さいます。